
公民館のあり方を考える全国研究大会で 本学学生がパネラーとして発表。
行政・研究者と並んでの大学生の登壇は「初」。若者の声を社会教育現場に活かす目的。

東北芸術工科大学(山形市上桜田/学長 根岸吉太郎)では、美術史・文化財保存修復学科1年の工藤紗綾香さんと小林 純さんが、2014年1月15日～17日に国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)で開催される「第25回全国公民館セミナー」の1日目のシンポジウム「これからの公民館の役割と課題」に、パネラーとして出演します。

当日は、本学の松田道雄総合美術コース教授が担当する演習「生涯学習概論」で取り組んだ「大学生が調べる公民館学習」の報告や、学生視点による公民館活動の提言を、工藤さんと小林さんが行います。現役大学生が文部科学省や地域現場の担当者と並んで発表を行なうのは、このシンポジウムでは初めてで、地域住民の活動拠点としての公民館に、「若者の参加を求める声の高まり」があることが反映されたものと言えます。

このシンポジウムは公益社団法人全国公民館連合会と全国公民館振興市町村長連盟が主催し、「これからの公民館の役割と課題」を研修テーマに、国の動きや行政、地域、若者が議論を深めるもの。現場の優れた実践や有識者の助言を通して、全国の公民館が地域社会の健全な発展に寄与し、地域に必要とされる施設を目指すことを目的としています。会期中は、参加型ワークショップ等を実施し、魅力ある講座のつくり方、効果的なPR方法についての研修が行われます。

学生の指導に当たった松田教授は、市民各人の関心ごとを互いに見せ出して体験交流し合う場「駄菓子屋楽校」を全国で展開するなど、一般の方の社会参画・社会教育の実践・研究を専門としています。

つきましては、本学学生の活躍について、県民、市民の皆様へご紹介いただきますよう、取材のお願いを申し上げます。

第25回全国公民館セミナー

期日:2014年1月15日(水)～17日(金)

会場:国立オリンピック記念青少年総合センター

住所:東京都渋谷区代々木神園町3-1

TEL:03-3467-7201

主催:公益社団法人全国公民館連合会/全国公民館振興市町村長連盟

HP:<http://nyc.niye.go.jp/>

【1日目】「シンポジウム:これからの公民館の役割と課題」

各界の第一人者が、さまざまな立場から公民館の現代的役割や課題について提言を行い、パネリスト同士が討議します。コーディネーターは、公民館現場に精通していると定評のある清國祐二氏です。

日時:平成26年1月15日(水)13:00～17:00

コーディネーター:清國祐二氏(香川大学 生涯学習教育研究センター/教授)

パネリスト:坪田知広氏(文部科学省生涯学習政策局/社会教育課長)

関 福生氏(愛媛県新居浜市/市民部長)

佐野万里子氏(公益財団法人奈良市生涯学習財団事務局)

工藤紗綾香 小林 純(東北芸術工科大学 芸術学部 美術史・文化財保存修復学科/1年生)

■お問い合わせ:公益社団法人全国公民館連合会(担当:村上英己)

住所:東京都港区虎ノ門1-16-8 飯島ビル3階/TEL:03-3501-9666

■配信元:東北芸術工科大学広報室 TEL:023-627-2246

資料**【2日目】****「ワークショップ:公民館の映画をつくろう」**

グループごとに脚本づくりから撮影、そして最後に上映まで1日でおこないます。公民館を舞台にした映画づくりを通して、公民館とはどんな役割を持ち、どのような良さがあるのかなどを学びます。昨年度実施して、たいへん好評だったプログラムです。ファシリテーターは、今までさまざまな地域密着型の映画を手がけている脚本家の栗山宗大氏が務めます。

日時:1月16日(木)9:00~18:00

ファシリテーター栗山宗大氏(脚本家)

【3日目】**「講座:講座づくりのヒント」**

講座をつくるにあたってのさまざまな工夫やヒントを永田宏和氏が伝授する他、3日間の総合コーディネーターを務める清國氏が、3日間学んだ講義を振り返り、意義や位置づけなどを取りまとめ報告します。

日時:1月17日(金)9:00~11:00

講師:永田宏和氏(特定非営利活動法人プラス・アーツ/理事長)

「総括:3日間を振り返って」

日時:1月17日(金)11:10~11:50

講師:総合コーディネーター:清國祐二氏(香川大学 生涯学習教育研究センター/教授)